

## 児玉 泰 略歴

Kodama Yasushi

2023/6/7

—  
高槻市美術家協会(洋画)会長  
茨木美術協会(デザイン)  
茨木現代美術の会実行委員

1979 高槻市展市長賞 83 同賞 82 市議会議長賞  
1980 京都美術展  
1989 京展~91 93~95 97 99  
1989 全関西展 ~96  
1991 加西市花の大賞展 92、98 奨励賞 03 根日女賞  
1992 三田市展最優秀賞 00 同賞 98 記念大賞  
1992 八千代町風景画展佳作 95 同賞 04 優秀賞  
1992 ゼンリンオリジナル地図コンテスト審査員賞  
1993 京都ピエンナーレ  
1993 西脇市展特選 98 同賞 99 同賞 94 推薦 04 最優秀賞  
1993 しんわ美術展銅賞 95 努力賞 21 銅賞  
1994 伊丹大賞展 99  
1994 茨木市展市長賞 記念賞 95 市議会議長賞 21 教育委員会賞(デザイン)  
1995 西脇SMホール展 06 08 12 17  
1996 京都工芸美術展  
1997 西宮市展デザイン 市商工会議所会頭賞  
1998 西宮市展 市議会議長賞 08 市議会議長賞 16 市展賞 22 佳作  
2001 加古川市川の大賞展 03 特別賞 04 05 07  
2004 伊丹0号展 佳作 05 同賞 06 同賞 07 同賞  
2005 舞鶴レンガ展 優秀賞  
2010 現代美術—茨木 特集作家招聘  
2011 損保ジャパン奨励賞  
2023 京都教育大学院美術教育専修修了  
その他 個展 14回

日常の瞬時に脳裏に浮かぶ景観を、いかに具現化するかが課題です。考古学、古代史のフィールドワークを通じた考察の仕方が次第に制作に反映しつつあります。近年は、中学生美術に関わる立場であることから、いかに日常生活のデザイン化を生徒とともに模索し続けています。

## 個展

1995 8 古代の想い (芥川緑地資料館あくあびあ)  
1966 3 茨木の古墳を考える (川端康成文学記念館ギャラリー)  
1999 12 西脇市岡之山古墳群を考える (西脇市岡之山美術館アトリエシリーズ企画)  
2000 3 後期古墳を考える (ギャラリーくるせ)  
2001 1 塔上祭シリーズ (茨木市福祉文化会館)  
2003 3 河川敷の地理学シリーズ (茨木市福祉文化会館)  
7 ここ十年の流れ 作品展 (川端康成文学記念館ギャラリー)  
8 アートボーン受賞展 (豊中市ギャラリーアートボーン)  
2005 6 辺境の景観を考える (西脇市岡之山美術館アトリエシリーズ企画)  
2006 1 辺境の景観シリーズ (茨木市福祉文化会館)  
6 作品展 (アトスペース東山)  
2008 8 景観の狭間と俯瞰 (茨木市福祉文化会館)  
11 磯城・磐余 景観一大和・奈良 No. 1 (アトスペース東山)  
2009 7 JUBUN—樹群 (川端康成文学記念館ギャラリー)  
2010 6 葛城 景観一大和・奈良 No. 2 (アトスペース東山)  
10 自然と景観 (児玉敬子との2人展) (川端康成文学記念館ギャラリー)  
12 視点の四方向 (ギャラリーNOB企画)  
2011 11 佐紀盾列 景観一大和・奈良 No. 3 (アトスペース東山)  
2012 9 日常の狭間 (ギャラリーセージ企画)  
2013 6 下ツ道 景観一大和・奈良 No. 4 (アトスペース東山)  
11 三島の古墳 (写真家山本凡男とのコラボレーション展) (茨木市福祉文化会館)  
2016 11 TSAC(高槻市立第三中学校美術デザイン部) EXHIBITION  
(ギャラリーからころ)  
2021 1 作品展(京都教育大内 ギャラリー穴蔵)  
2021 6 4Door 展 デザインの行方 4人展企画  
2021 7 作品展(アート デ アート ビュー企画)  
2023 2 作品展(からころ企画)  
2022 2 作品展(京都教育大内 ギャラリー穴蔵)  
2023 3 廃材から浮かぶイメージを…(京都教育大内 ギャラリー穴蔵)